

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミⅡ	チーム名	Oops! 稲田
タイトル	Mission Kansai ～より多くの外国人 tourist を関西へ～		
テーマ群	g) その他		
メンバー	和具尚志、富山晴希、竹松郁也、澤井一哉、石川浩輝、松浦新、加藤義宏		
研究計画内容	<p>私たち稲田ゼミでは、主に関西経済を中心に研究を行っています。関西経済といっても、観光・教育・財政・貿易・産業など内容は様々です。このようなことを研究する中で注目したのが、「関西経済の消費が低迷する中で、関西がさらに経済発展をするにはどうすればいいか」ということです。</p> <p>2020年には東京でオリンピックが開催されることが決定し、関東の消費は今後さらに増大することが見込まれています。しかし関西からは都心への人口流出などによる消費の低迷が予想されています。そこで目を付けたのが、訪日外国人です。アベノミクスによって円安となった今、日本での消費を促してくれるのは、海外からの需要です。特にアジアからの訪日外国人は観光・飲食だけではなく、お土産や日常品の大量購入など目的は様々です。さらに観光庁もこの東アジアの訪問外国人の年齢や旅行形態に焦点を絞って、あらゆるコンテンツを戦略的に取り組んでいます。また、関西の外国人のスポットや県別の統計からさらに詳しく分析して、そこから関西にどのようなツールを使って、関西に潜在的に持っている魅力についての原因を突き止めることによって、関西の消費をどのようにして増加させていくかについて検討していきます。</p> <p>よってインナーゼミナールでは、少子高齢化が進み日本人の消費額が減っていく中、どのようにして全国と関西の差別化を図ることによって、訪日外国人による関西のGDPの維持、増大をはかっていくかについて発表していきたいと思います。</p>		